

## 県立高等技術専門校の見直し・機能充実の検討状況について

### 第10次愛知県職業能力開発計画(抜粋)

○ 新規学卒者や若年者、離職者等向けの職業訓練機能(専門校施設内/委託訓練)を充実させ、企業が求める知識・技能を習得した即戦力技能者等を積極的に育成する。

#### <専門校施設内訓練>

- ・ IoTなど中小企業のニーズに対応した訓練カリキュラムの見直し
- ・ 職場実習を含むデュアルシステム訓練の拡充
- ・ 若年離職者の再チャレンジのための訓練コース強化 (コミュニケーション訓練等)

- ・ 技能五輪参加選手、技能検定受検者の練習の場としての施設活用

#### <委託訓練>

- ・ 多様な訓練コースを提供し、離職者等の早期再就職を積極的に支援

○ 中小企業の人材育成支援、学生等の次世代のモノづくり人材育成支援を強化する。

- ・ 中小企業の要望に基づく在職者向けオーダーメイド型訓練の拡充
- ・ 在職者が受講しやすい夜間、休日に実施する短時間訓練等の拡充
- ・ 新入社員等の対象別訓練等の提供
- ・ 熟練技能者や他機関と連携した訓練メニューの提供
- ・ 中小企業や業界団体の要望に基づく従業員教育の場の提供と職業訓練指導員等派遣を一体的に実施
- ・ 工業高校生や指導教員への実技指導

○ 女性、障害者、非正規雇用労働者など多様な人材一人一人の職業能力を高める役割を担う。

- ・ 女性、非正規雇用労働者等の再就職のための訓練メニューの充実
- ・ 育児をする女性等に配慮した訓練コースの設置
- ・ 名古屋・岡崎高等技術専門校における平成29年度からの知的障害者対象の職業訓練コースの設置



○ こうした機能強化を検討するとともに、組織再編による合理化と機能強化を図るための施設の在り方に関する検討を行う。

### 1 見直しの考え方

(1) 産業人材ニーズを踏まえた機能強化

- 地域中小企業支援のための人材育成機能の強化を検討し、主に次の機能強化策を実施。
  - ①モノづくり人材育成機能の強化
  - ②中小企業の人材育成支援機能の強化
  - ③女性、障害者、非正規雇用労働者など多様な人材の職業能力開発機能の強化
  - ④上記機能強化に必要な施設、訓練機器の整備

(2) 組織再編による合理化と機能強化を図るための施設のあり方

- 組織の統廃合・再編と機能強化・施設整備を一体的に進める。

### 2 訓練カリキュラムの見直し

(1) I o T分野 (電気・電子系コース)

- 「日本再興戦略 2016」において、I o T分野が有望成長市場と位置付けられ、「ロボットシステム構築人材の倍増」など、当分野の人材育成が必要とされている。
- 即戦力を求める企業と基礎的な技術を持つ人材を求める企業に企業ニーズが二極化しているため、1年コース(基礎的技術)と2年コース(即戦力)を設置する。
- 既存コースの見直しを行い、「ロボット」及び「組込システム」を中心とした新コースの設置を想定。

(2) 建築分野

- 木造建築以外にも、求人ニーズが高い鉄筋やビル施工分野の訓練についても拡充することを想定。

### 3 施設の整備

(1) 岡崎高等技術専門校

三河地域の産業人材育成支援の拠点として整備を行っていく。

(2) 名古屋高等技術専門校

再編後の訓練科の集約に対応するため、現在空調設備の設置されていない教室等に空調を整備するとともに、老朽化した既設空調設備の更新を実施していく。

### 4 訓練機器の整備及び在職者訓練への活用

老朽化した機器を更新するとともに、訓練コースの見直しに併せて新たな訓練機器を導入し、それらを活用した在職者訓練も併せて実施していくことを検討。

整備する主な訓練機器(案)	旋盤(数値制御・汎用)、フライス盤(数値制御・汎用)、三次元測定機、積層造型機、プリント基板製造装置、PC(CAD・CAM)等
---------------	---